

アンケートへの協力ありがとうございました。

保護者の皆様には、12月にお願いしました今年度の学校教育に関するアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。今回は、この結果(抜粋)についてお知らせします。この結果をもとに、学校教育のさらなる向上を目指して取り組んでいきます。



【学校経営・情報提供について】

○「地域と連携しながら特色を生かした教育活動に取り組んでいる」の項目は、肯定的評価が100%だったものの、△「学校は、保護者と話をする機会を多くもっている」の項目は、77%でした。今後も、ふるさと学習を推進しつつ、できるだけ保護者の方との話し合いの機会を設け、家庭・地域と学校が共通理解の上で進めていく教育活動をさらに目指したいと思えます。

【子どもの姿について】

○「子どもは楽しく学校へ行っている」、「子どもの良さや努力を認め、一人一人を大切に学級づくりをしている」の項目は、肯定的評価が100%、「子どもはあいさつをしている」の項目は、88%でした。

△「宿題や家庭学習を進んでしている」の項目は、肯定的評価が61%と低かったのですが、児童のアンケートでは、同じ項目が94%と高く、親子での評価の差が大きかったです。今後も、学習の進め方・課題の出し方など更に改善したり、家庭学習の進め方を指導したりするなど、親子共々肯定的評価がされるように指導していきたいと思えます。

○読書の項目については、昨年は肯定的評価が56%だったのに対し、今年度は、72%と少し上昇しました。今後も、本の面白さをもっと感じられるよう、委員会や図書館司書の活用を工夫していきたいと思えます。



○「病気等の時や緊急の場合等、適切に対応している」の項目は、肯定的評価が100%、「進んで外遊びをしたり運動をしたりしている」の項目は、児童も保護者も90%前後でした。

【ご家庭について】

△ノーメディアの取組では、昨年度の肯定的評価は65%でしたが、今年度は61%と少し下がりました。ご感想の中にも「3世代で生活している中では、ノーメディアは難しい」とのご意見がありました。このことを受けて教職員で話し合い、「ノーメディア」を「ショートメディア」とし、メディアを全く利用しないのではなく、普段より意識してメディア使用時間を短くするよう取り組んではいかがでしょうかと提案します。今後も、家庭学習や読書、親子のふれ合いなどができる取組を工夫して進めていきます。